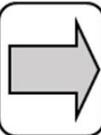


管内經濟情勢報告



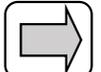
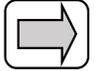
令和 7 年 4 月
財務省 四国財務局

四国財務局管内経済情勢報告

| | 令和7年1月判断 | 令和7年4月判断 | 総括判断の要点 | 1月判断との比較 |
|------|-------------|-------------|--|---|
| 総括判断 | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | <p>個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっていることから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直しつつあるものの、化学が一進一退の状況にあるほか、電気機械が弱含んでいることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p> |  (2期連続据え置き) |

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

| 項目 | 令和7年1月判断 | 令和7年4月判断 | 1月判断との比較 |
|------|----------------|----------------|---|
| 個人消費 | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している |  |
| 生産活動 | 一進一退の状況にある | 一進一退の状況にある |  |
| 雇用情勢 | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している |  |
| 公共事業 | 前年度を上回っている | 前年度を上回っている |  |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている |  |
| 設備投資 | 6年度は前年度を上回る見込み | 6年度は前年度を上回る見込み |  |
| 企業収益 | 6年度は増益見込み | 6年度は増益見込み |  |

※ 7年4月判断は、前回7年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

(2期連続据え置き)

- スーパーは、総菜や冷凍食品などの飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、米飯類や飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

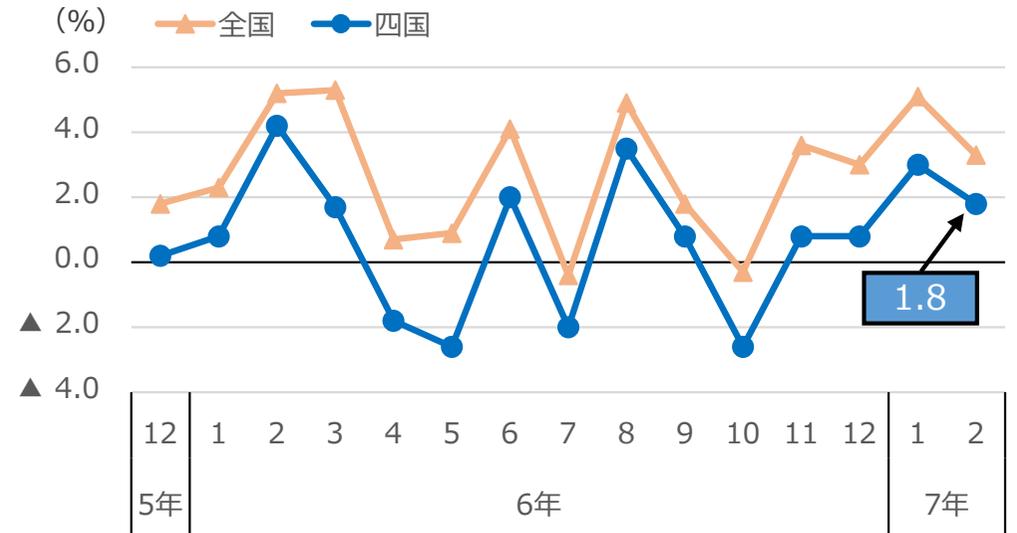
«スーパー»

- 販売促進を行った日に客数が増加するなど、引き続き消費者の節約志向がうかがえる一方で、バレンタインなどイベント関連では高価格帯の商品が売れており、メリハリ消費がみられる。
- 野菜や米の相場高により、手の届きやすい価格帯のカット野菜や冷凍食品などの売行きがよい。
- 気温の低下で寝具や冬物衣料が好調だったが、春物衣料の販売が振るわなかった。

«コンビニエンスストア»

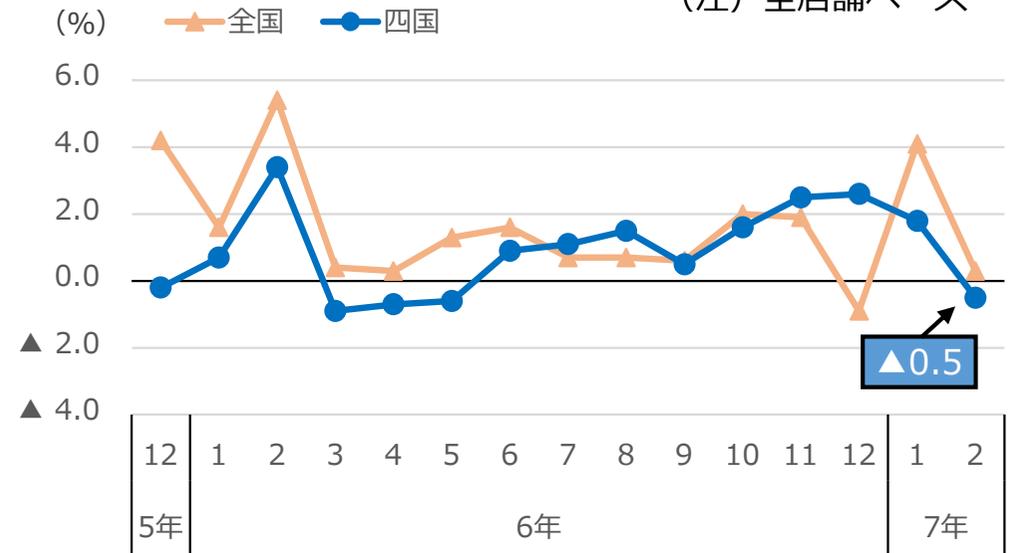
- 販売促進の効果などから、おにぎりや総菜などの売行きがよい。
- 昨年よりも気温が低い日が多かったほか、新商品の投入もあり、中華まんやおでんなどのカウンター商品に動きがみられた。

〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



〔出所〕 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、医薬品や飲食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンや新生活向け製品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- ホームセンターは、防災用品や季節商品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

《ドラッグストア》

- 昨年に比べて気温が低く、風邪薬をはじめとした医薬品や、ハンドクリーム、リップクリームなどの保湿商品がよく売れた。
- お菓子や飲料を中心に価格の安いPB商品の売行きがよい。

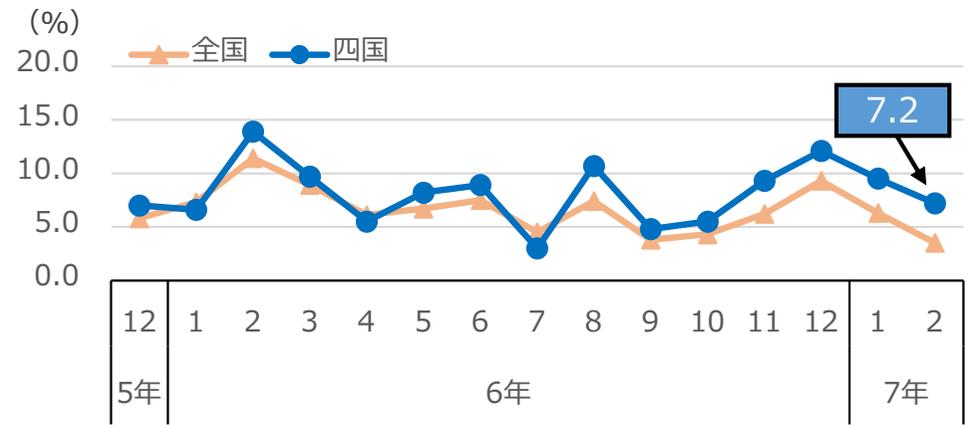
《家電大型専門店》

- 寒波の影響や暖冬で振るわなかった前年の反動もあり、エアコンの販売台数は前年を上回って推移。電気代の高騰を受け、省エネ性能の高い機種需要が高まっている。
- 新生活商戦の開始時期を前倒ししたことから、冷蔵庫や洗濯機の動きがよい。

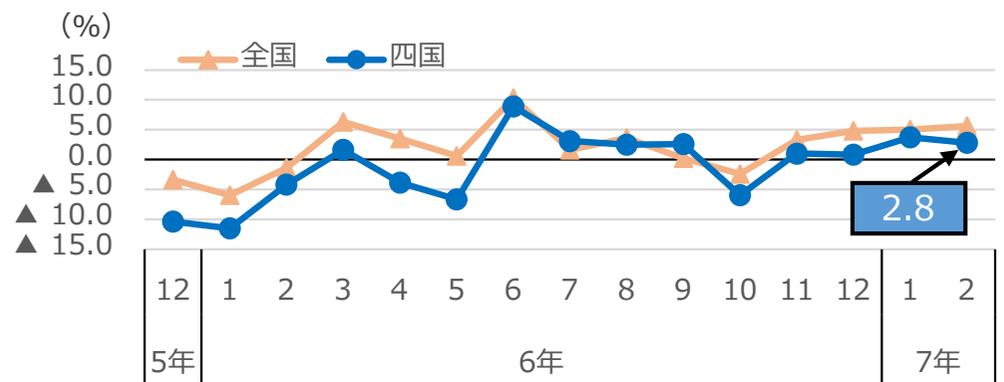
《ホームセンター》

- 防災用品の売上高は、能登半島地震の影響で需要が増加した前年ほどではないものの、例年と比較すると需要に伸びがみられる。
- 気温が低い日が多く、残暑で伸び悩んでいた暖房用品や防寒用作業着などの季節商品が好調に推移した。

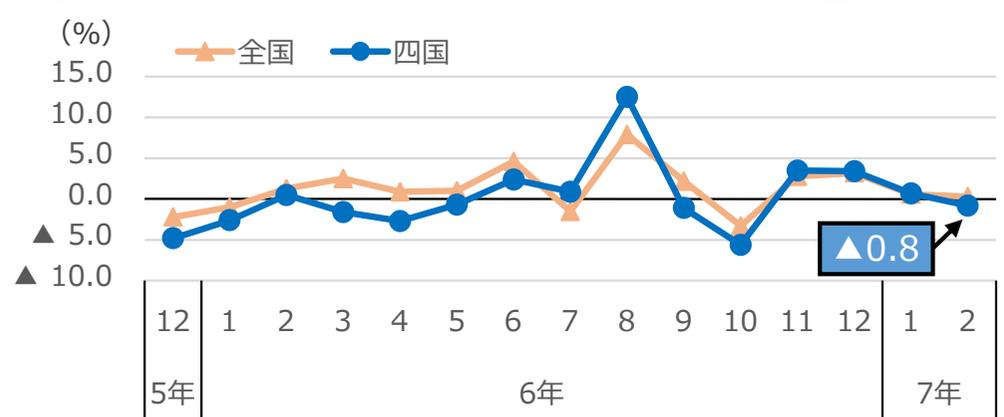
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



個人消費

- 百貨店は、高額品等に動きがみられるものの、衣料品等の動きが弱いことから、全体としては弱含んでいる。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を上回っている。
- 観光は、外国人観光客の増加などにより、緩やかに回復している。
- 旅行は、国内旅行、海外旅行ともに、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

《百貨店》

- 3月中旬でも冷え込みが厳しく、また、2~3か月もすれば暑くなることを考えると、春物衣料を着用する期間は非常に短くなっており需要が伸びない。

《乗用車》

- 新保安基準対応車種は生産再開しており、元通りの生産水準。昨年自動車メーカーの生産停止の反動増もあり、販売台数は順調に回復している。

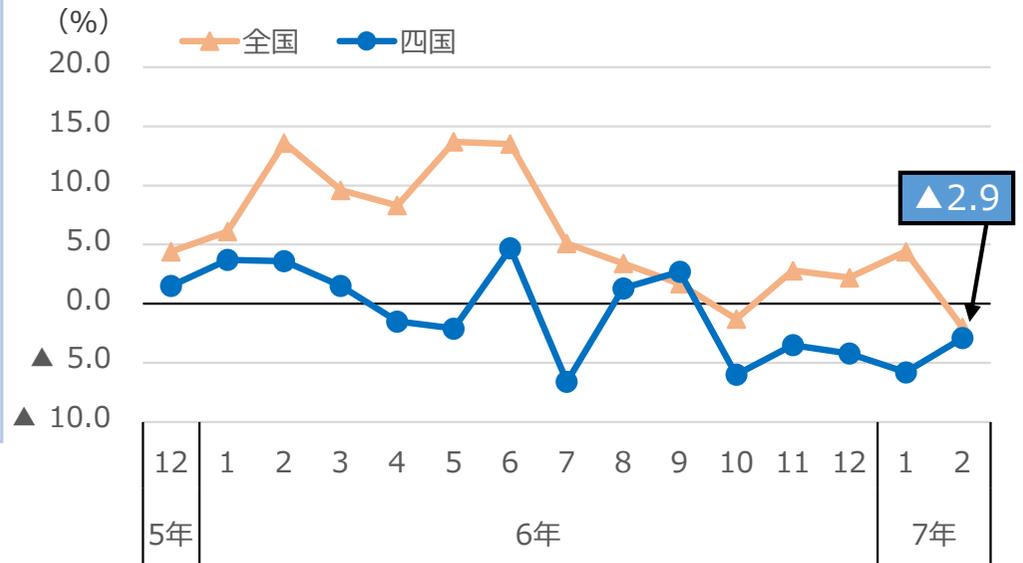
《観光》

- 国際線定期便の運航や春節の効果でインバウンドが好調。国内観光客も、個人客はますますの入込となっている。

《旅行》

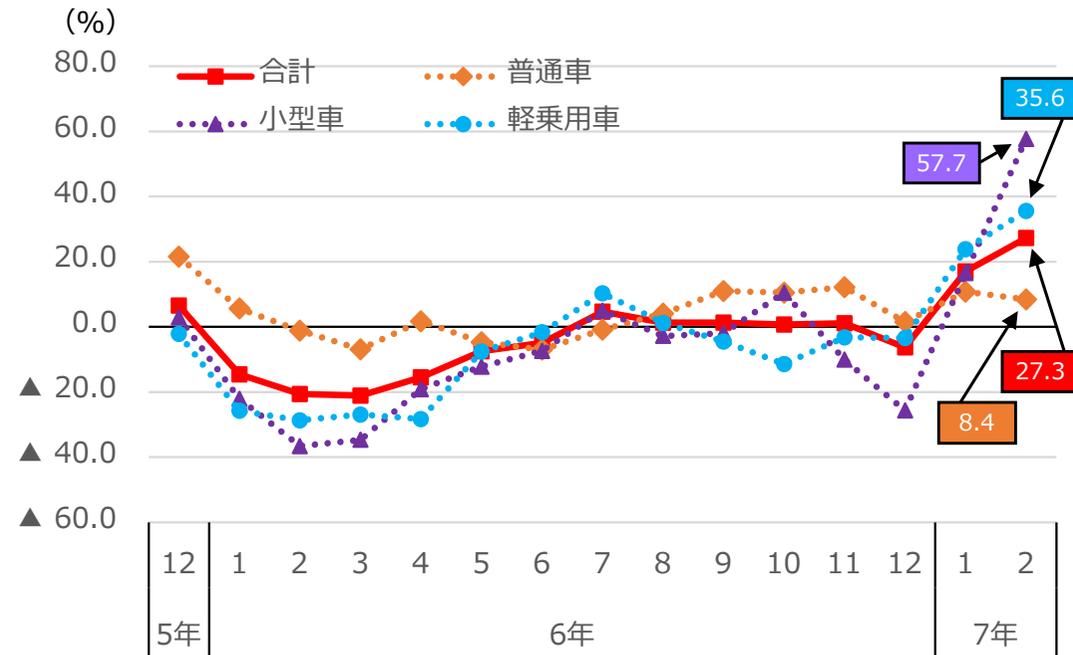
- 国内旅行について、交通費や宿泊費の高騰により費用が抑えられる傾向にあるものの、引き続きテーマパークは人気で、新エリアのオープン効果が継続している。

〔百貨店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

〔四国の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出

生産活動

生産活動

一進一退の状況にある

(7期連続据え置き)

- 汎用・生産用機械は、海外向けの需要増加などから、緩やかに持ち直しつつある。
- 食料品は、堅調な需要を背景に、緩やかに持ち直している。
- 化学は、需要は堅調であるものの、一部に弱さがみられることから、一進一退の状況にある。
- 電気機械は、一部に弱さがみられることから、弱含んでいる。

〔主なヒアリング結果〕

《汎用・生産用機械》

- 設備機械は需要が好調な中、営業活動による大口案件の受注で生産量が増加。

《食料品》

- 米価格高騰の影響もあり、パンが好調。特に総菜パンの需要が伸びている。

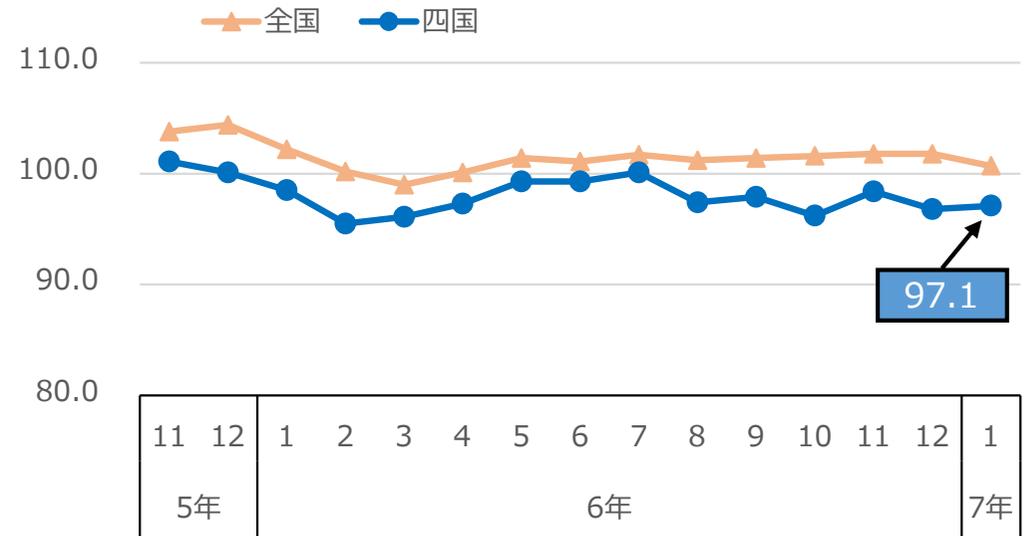
《化学》

- 医薬品の海外向け需要は引き続き堅調に推移しており、これまで通りの生産を継続。

《電気機械》

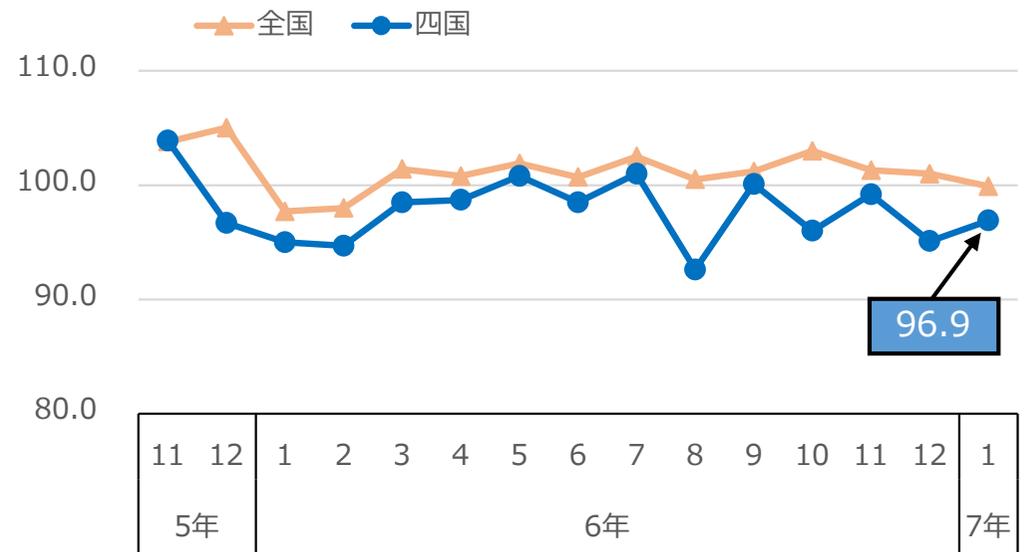
- 自動車向けなど、半導体需要は回復に時間を要しており、減産調整を継続。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(令和2年 = 100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

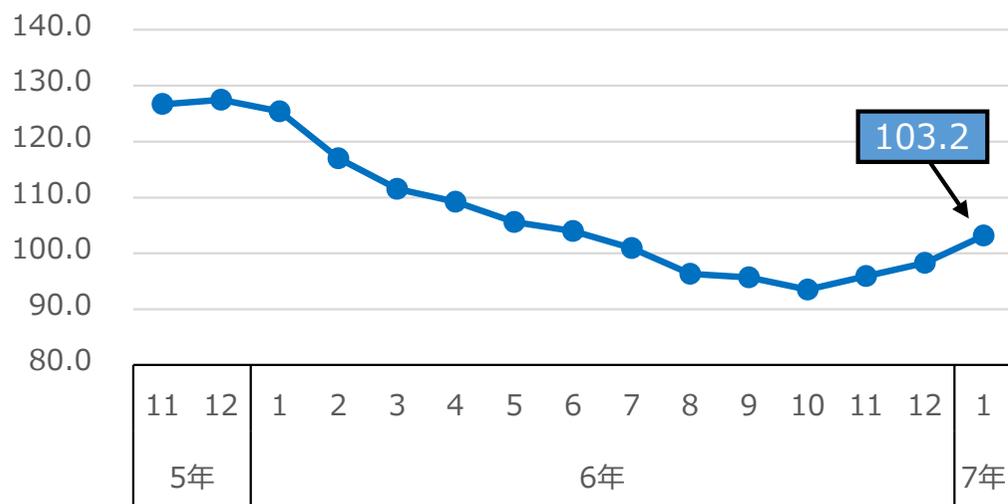
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



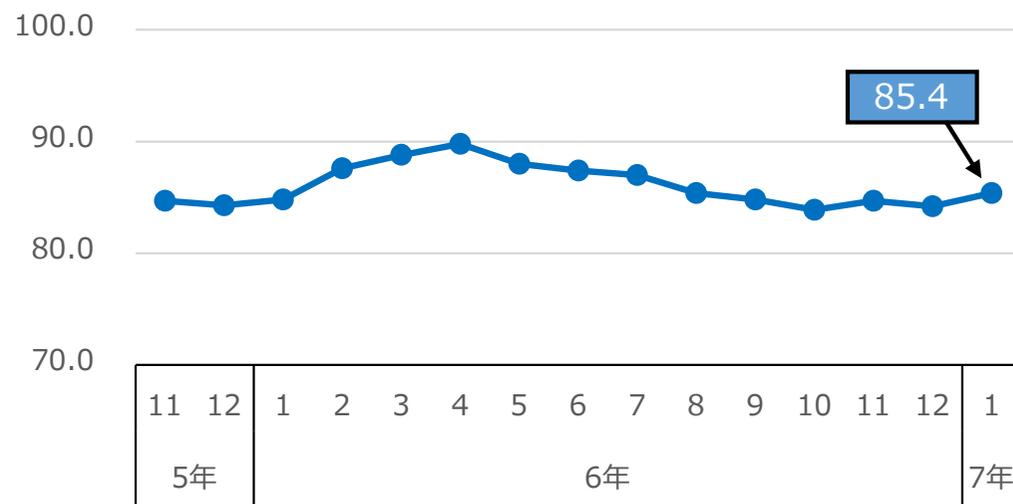
(令和2年 = 100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局

生産活動

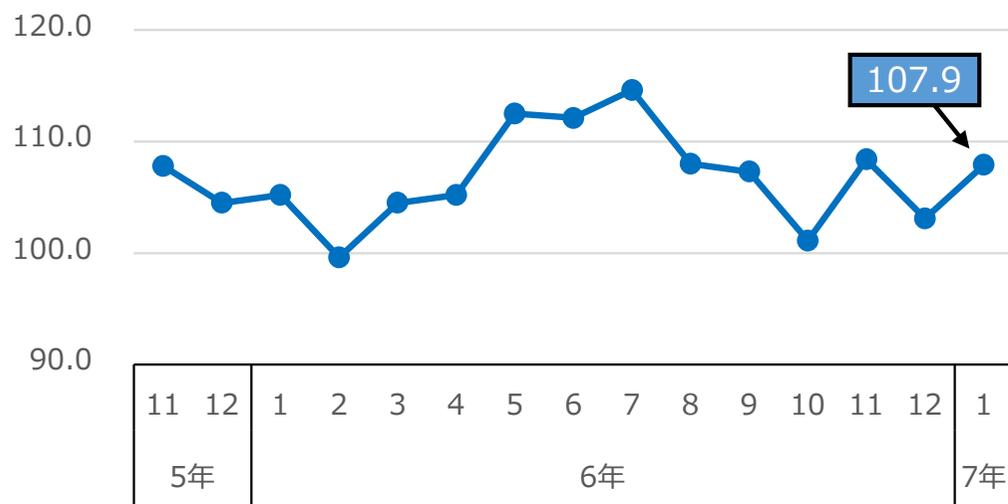
〔汎用・生産用機械〕



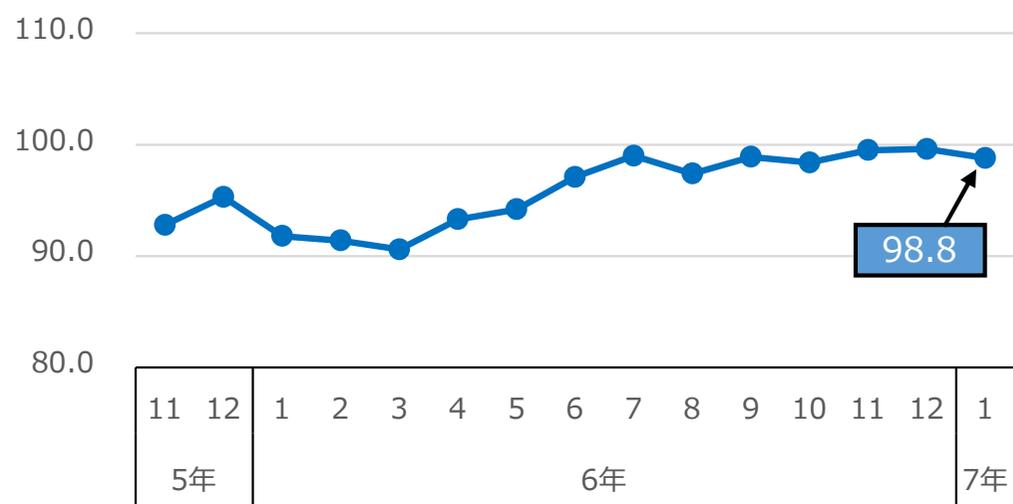
〔食料品〕



〔化学・石油石炭〕



〔電気機械〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100) 【出所】四国経済産業局の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

緩やかに持ち直している

(10期連続据え置き)

- 有効求人倍率は横ばいとなっている。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、3月末は全産業で36.3%ポイントと「不足気味」超となっている。

〔主なヒアリング結果〕

《公的機関》

- 製造業だけでなく、建設、小売などの業種でも外国人労働者を雇用する動きがみられている。
- 求人を出しても集まらないことから、今以上に人手不足とならないよう、福利厚生制度を充実させる事業所が増えている。

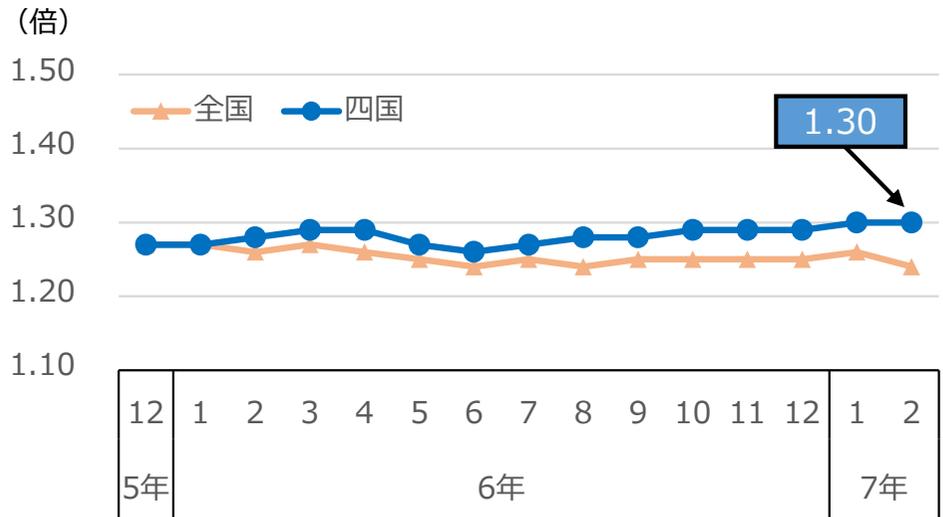
《窯業・土石》

- 中途採用を増やしているほか、自治体と連携したU・Iターン人材の獲得や、非正規社員の正社員化などにも取り組んでいる。

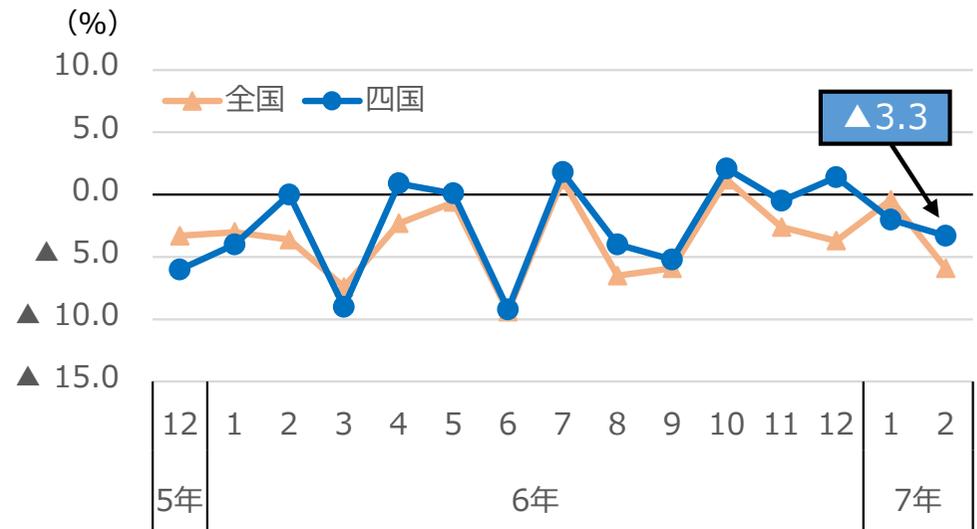
《生活関連サービス》

- オンライン予約の割合を増やすことで、接客業務の負担軽減に取り組んでいる。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出

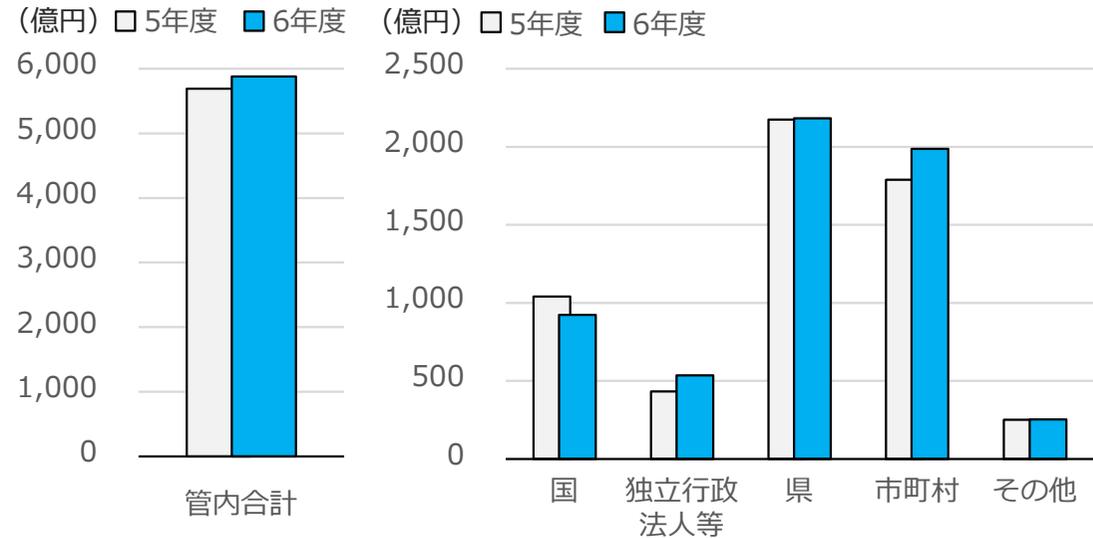
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額で見ると、国は前年度を下回っているものの、県は前年度並みとなっており、独立行政法人等及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔四国の公共工事前払金保証請負金額（3月累計額）〕



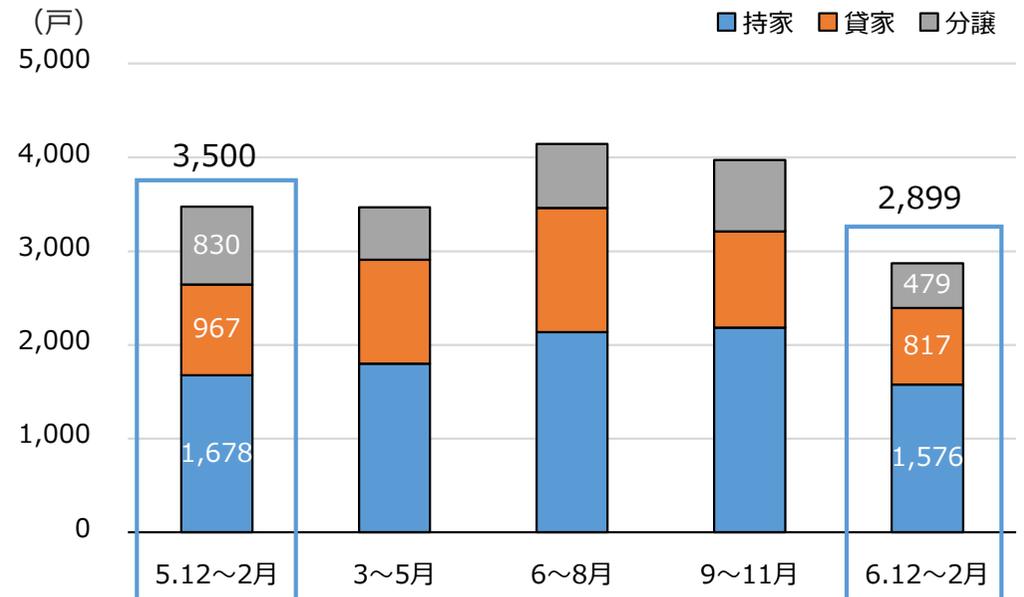
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年を下回っている。

〔四国の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

〔主なヒアリング結果〕

- 物価高のため、住宅展示場に来場しても、毎月の支出の増加を懸念して購入に至らないケースが増えている。
- 住宅価格の上昇で、コンパクトな平屋を検討する人がみられる。

設備投資・企業収益・企業の景況感

設備投資

6年度は前年度を上回る見込み

○6年度の「設備投資」は、製造業及び非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。

企業収益

6年度は増益見込み

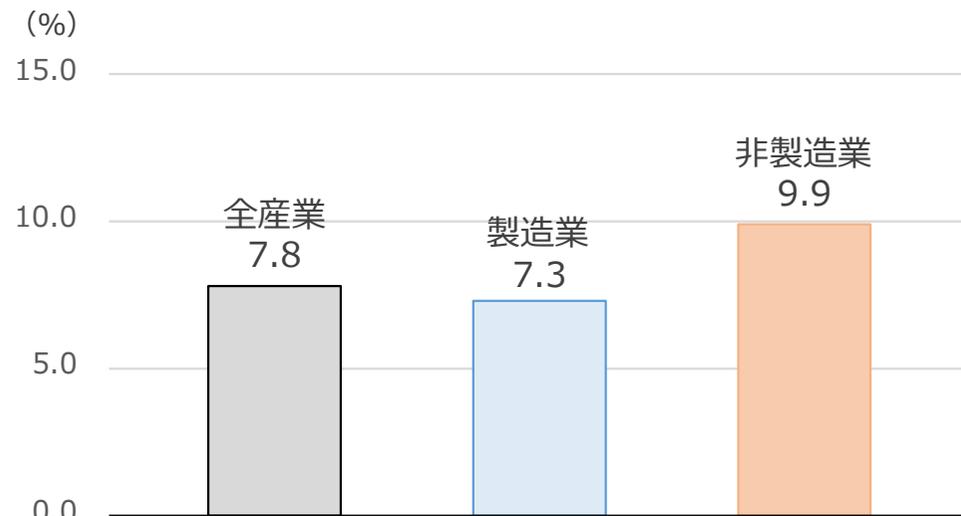
○6年度の「経常利益」は、製造業及び非製造業で増益見込みとなっており、全体としても増益見込みとなっている。

企業の景況感

「下降」超

○7年1～3月期は、製造業及び非製造業で「下降」超となっており、全体としても「下降」超となっている。

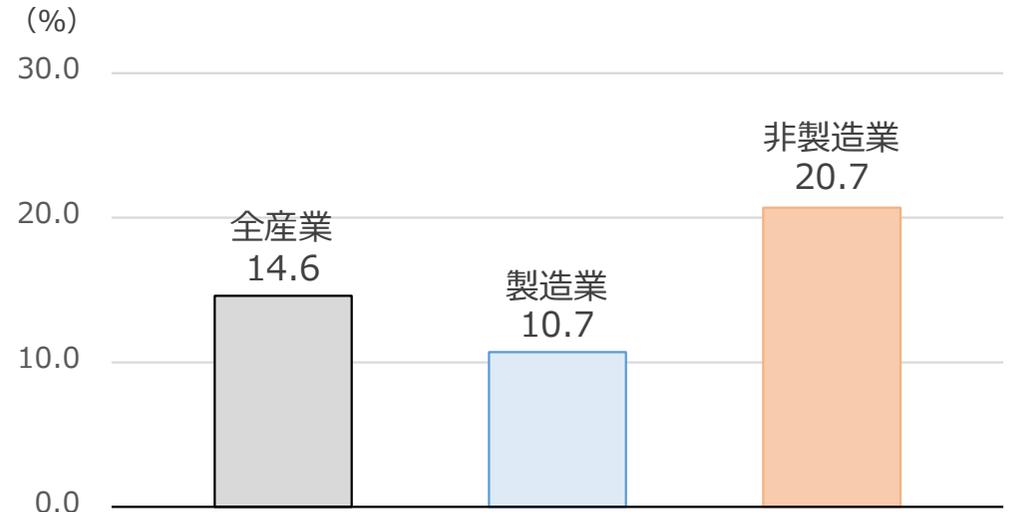
〔経常利益（四国、前年度比）〕



※7年1～3月期調査の結果

※「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本店が所在する企業

〔設備投資（四国、前年度比）〕

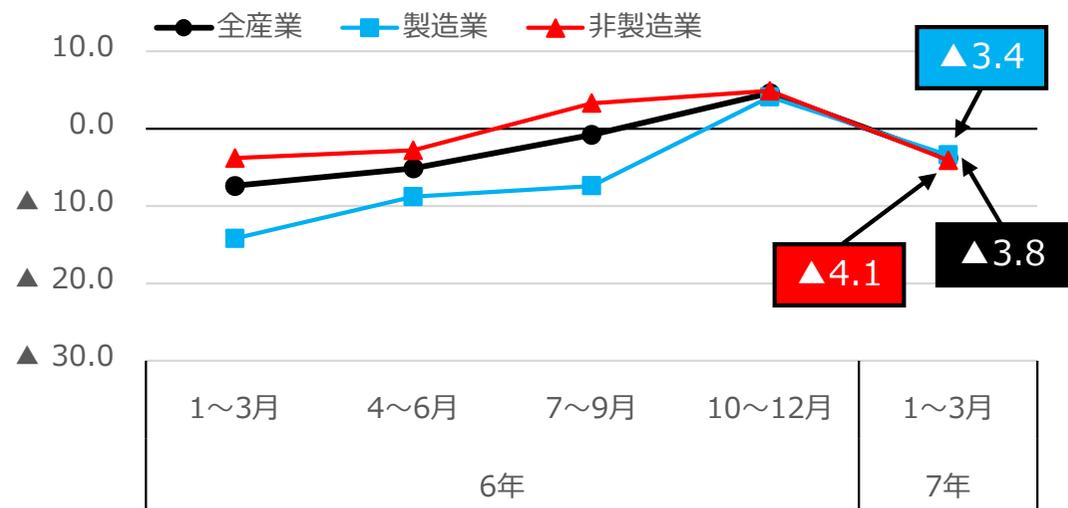


※7年1～3月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

〔企業の景況判断BSI（四国）〕

(%ポイント)



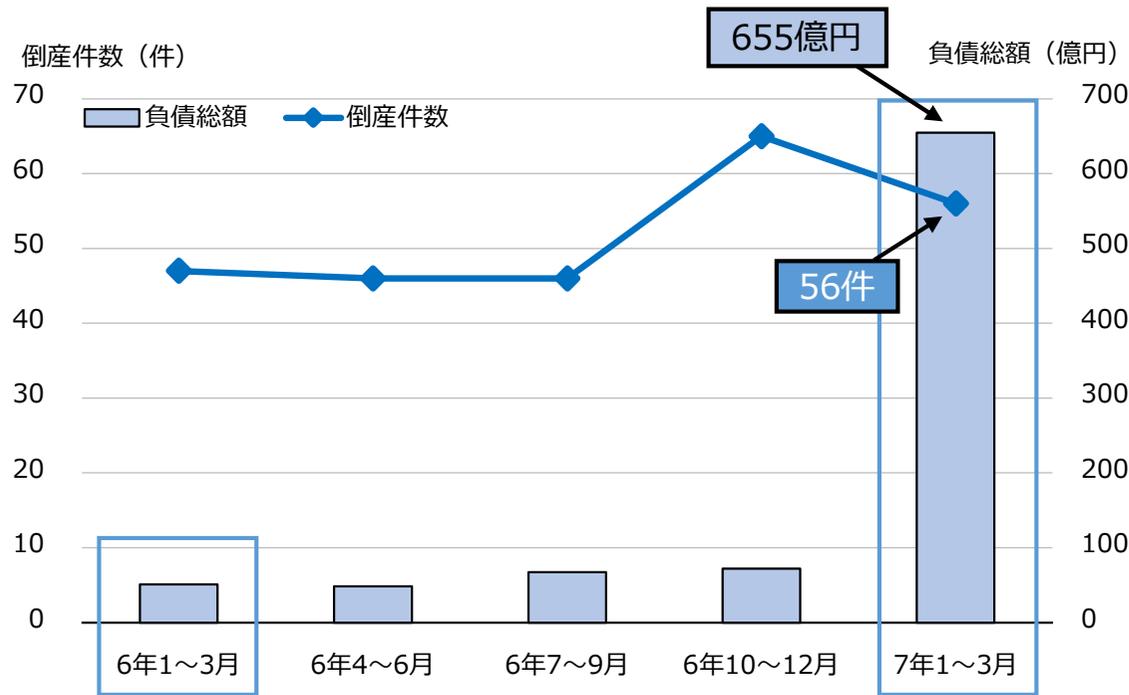
〔出所〕四国財務局（法人企業景気予測調査）

企業倒産・消費者物価（参考）

企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕

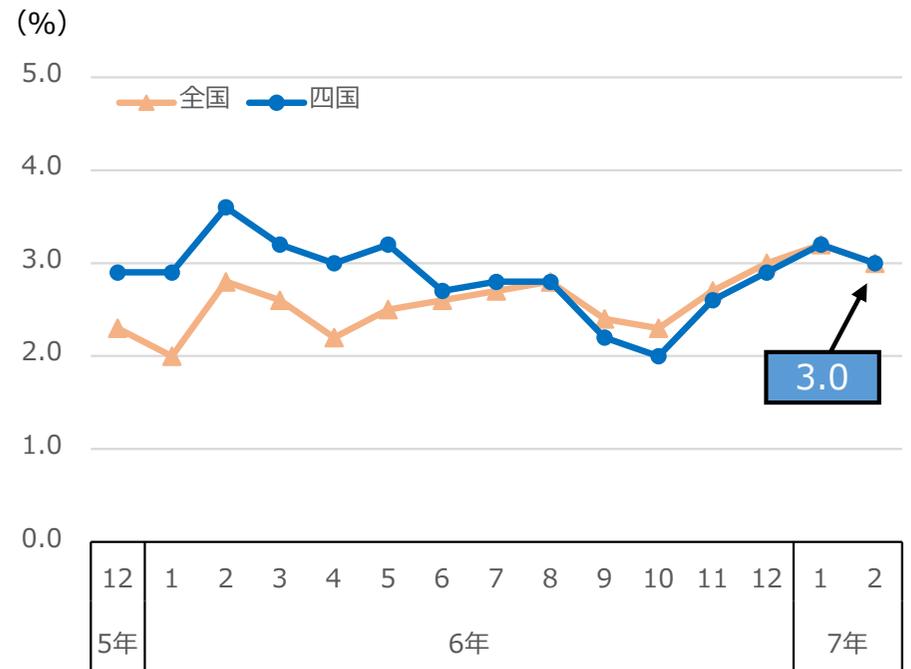


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

消費者物価

前年を上回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

